

活動

No.131 暮らしの学び庵(京大こころの未来研究センター)

- ・「まちの”おせっかい役を”育てる」  
地域の互助、共助を強化するという、とても難しいけど、地域コミュニティにとってはとても大切な課題に、真っ向チャレンジしている企画。それが京大こころの未来研究センターの清家特定助教が取り組む「暮らしの学び庵」です。
- ・3年前、初級講座を開始。今年度、中級講座を実施しました。
- ・生きていく知恵を学ぶこと、つながりをつくること、いろんな学びと気付きの中で、参加者の意識と行動が少しずつ変わっていきます。
- ・次年度は、上級講座や、特定の地域での展開を模索しています。
- ・今後の展開に向けて、地域とのつながりづくりをサポートしています。



暮らしの学び庵チラシ



暮らしの学び庵の様子

活動

No.135 胎教協会 シンポジウム



パネルディスカッション

ワークショップ



胎教アドバイザーの皆さん

- ・胎教協会主催のシンポジウムが5月7日に開催され、90名(おなかの中の赤ちゃんを含む)参加がありました。
- ・よい環境づくりを行うこと、家族や地域が共同で子育てに関わっていく共同養育の仕組みをつくっていくことの大切さを、科学的根拠に基づいて語られました。

【胎教シンポジウム】

日時：平成29年5月7日13時～16時

場所：聞法会館ホール

トークライブ

明和政子氏(京都大学大学院教育学研究科教授)

山村龍和氏(書道家)

## 活動

### No. 210 若草プロジェクトシンポジウム&企画展

- ・若草プロジェクト in KYOTO の取組として、3月2日に公開シンポジウムを開催しました。困難な状況におかれた少女たちの実状を知り、何が必要かを一緒に考えようという企画で、当日は300人を越える参加者があり、会場はいっぱい。関心の高さがうかがえました。

同時に、企画展「私たちは『買われた』展」も開催され、こちらも盛況でした。



若草プロジェクトシンポジウム

#### ●シンポジウム「絶望社会を生き抜く少女たちのいま」

日 程：3月2日（木）13：30開会

場 所：大谷大学講堂

講 演：「困難を抱える女子高生の支援の現場から」

仁藤夢乃氏（一般社団法人 colabo 代表、「難民高校生」著者）

シンポジウム：「地域の中で私たちにできること」

仁藤 夢乃 氏

安保 千秋 氏（弁護士、子どもセンターののさん代表）

榎原 節子 氏（京都マック施設長）

宮崎 純子 氏（京都府家庭支援総合センター女性グループリーダー）

コーディネーター 志藤 修史 氏（大谷大学教授）

#### ●企画展 「私たちは『買われた』展 in KYOTO」

日 程：3月2日（木）～5日（日）

場 所：MEDIA SHOP/gallery（河原町六角東入る）

## 活動

### No.211 内田郁文氏

- ・No.201「100 サル」、No.10「景観フォーラム」と連携し、内田さん主催のイベント、「エレキナイト#1、#2」が実現しました。
- ・一人の想いが共感呼び広がり、そんな様子を目の当たりにしました。



#1では、  
電気の基本を  
共有

#2は、  
嵐山に出かけて、  
景観も勉強。



## 活動

### No.206 うつくしい京都

- ・無名舎主、祇園祭山鉾連合会前理事長、吉田孝次郎が語る連続講座「吉田塾」今年もスタートしました。
- ・吉田先生の洗練された美意識と矜持に触れることができる、とても貴重な機会です。

